

11月

ふれあいルーム便り

通所介護・地域密着型認知症対応型通所介護

医療法人社団芙蓉会 デイサービス ふれあいルーム 2021年11月15日 No.314

導入して6年 くもん学習療法で脳を活性化



ご利用者（希望者）にくもん学習療法（読み書き・計算・数字盤）を中心とした学習療法を実施しています。

認知機能の維持・改善のため、ご利用者に合わせた適切な教材を提供し、1回20分を目安にスタッフとコミュニケーションをとりながら、脳を活性化していきます。笑顔で明るく楽しい時間を過ごされています。

10月より新しい学習療法実践士の資格を取得したスタッフも加わり、認知症予防により効果的な学習ができるよう努めています。学習療法を行うことでご利用者に笑顔が増えるよう、今後も継続していきます。くもん学習療法はいつでもお申込みいただけます。スタッフにお気軽にお声がけ下さい。

✦ 野村スタッフ

くもん学習療法を通し、ご利用者の新たな一面を知る事ができます。これからもコミュニケーションをとりながら楽しく脳を活性化していけたらと思います。

✦ 箕輪スタッフ

くもん学習療法を学び実践して、ご利用者が笑顔で取り組み、楽しんでされる姿勢に敬服しています。自身の成長や業務に活かせるようにしていきたいと思っています。



新聞紙を丸めた立体的な可愛いみかん



折り紙の紅葉カレンダー

電気ストーブ火災にご用心！

管理課防火管理担当 松倉 三雄

朝夕だんだん寒くなってきましたね。でも、エアコンや暖房を入れるのにはちょっと早いかな。

こんな時に便利なのが、電気ストーブ（カーボンヒーター、ハロゲンヒーター、温風機含む）ですよね。

軽いから簡単に運べるし、コードを延ばせばどこでも置くことができます。

足元を温めたいようなときには重宝しますよね。

でも、電気ストーブは「炎」は出ないものの高温の「熱」が出ています。

東京消防庁管内では電気ストーブによる火災が令和2年に69件、最近5年間では410件発生しています。そのうち電気ストーブが可燃物に接触しておきた火災は253件（6割以上）を占めています。接触した可燃物は布団や座布団などが150件（6割近く）を占め、そのなかでも掛布団が接触した火災が最も多くなっています。



特に、足元が冷えるからといって

布団や毛布の近くに電気ストーブを置いて寝込んでしまい、布団や毛布がストーブに接触し火災になる例も目立ちます。

電気ストーブを使う時は、燃えやすいものを近くに置かない、寝る前には必ず電源を切るといった注意をしながら使って下さい。

出典

「(公) 東京連合防火協会 防災第435号」

すっかり定着したハロウィンを楽しんでいただくようスタッフが仮装して登場。大きな拍手を浴びました。



手作りのビンゴカード



医療法人社団芙蓉会
ふれあいルーム



042-788-3302



042-788-3303

ふよう病院 〒194-0005 東京都町田市南町田 3-43-1 FAX 番号が変わりました。

ご利用日のご案内

月曜～土曜日、祝祭日

9:30～16:40

日曜日はお休みです。